

## 2016年6月度（第342回）ライフサイエンス分科会

開催日時：2016年6月16日（木） 14：00～17：00

開催場所：文京シビックセンター5階 会議室A

参加人数：11名

記入者：鈴木博道

### 内容：30分でわかるメタ解析とRevMan（レブマン）演習

（聖路加国際大学看護学研究科教授、コクラン日本支部事務局長 大田えりか先生）

#### 1. 講義「コクランとシステマティックレビューの基礎：PICOと検索と30分でわかるメタアナリシス」

スライドを使った講演で、コクラン共同体と日本支部の活動、日本人のコクランレビュー出版に関する実情などの説明。系統的レビューの成果をいち早く反映させるために、1-2年がかりでこれまで行っていたコクランレビューを3-4ヶ月で行う rapid review も増えている事や、韓国ではコクランライブラリーの country subscription 契約によって国内で誰でもフリーで利用できるようになったこと、なども紹介された。また、社会ニーズから質的研究の系統的レビューも一般化しつつあること、最近では EndNote に代わって COVidence がしばしば文献管理ソフトとして利用される様になって来ている、ことも紹介された。

そして最後に、RevMan で簡単にメタアナリシスが誰でも容易に出来るようになっていくことから、その成果品の見方読み方についての解説として、リスク比、オッズ比、リスク差、その解釈・理解の仕方、アウトカムと効果測定指標の選択、などの説明があり、2値データの場合と連続値データの場合の、フォレストプロット解釈法についての講義を受けた。

#### 2. RevMan 演習（デモ、並びに持参 PC での演習）

Review Manager の tutorial にあるカフェイン入りコーヒーとカフェイン抜きコーヒーの眠気に関する比較検討を材料に各自の PC で演習した。アウトカム指標を頭痛とした 2 値データによるメタアナリシス、眠気をアウトカムとする連続データのメタアナリシスを RevMan で操作し、フォレストプロットやファネル（漏斗）プロットを作成、その読み方についての解説を受けた。また、簡単な Risk of Bias に関する操作法や、サブ解析についてもデモと説明を受けた。

RevMan のソフトウェアとしての充実度、これを使ったメタアナリシスの実習を体験し、操作自体の容易さに感動すると同時に、解析対象研究の選択や、メタアナリシスの結果に関する評価のポイントなどの難しさ、について強いインパクトを受けた。

以上